

<b>【令和6年度】とうきょう すくわくプログラム活動報告書</b>							
				<b>施設番号</b>	66-00879		
				<b>施設名</b>	日野駅前かわせみ保育園		
				<b>施設所在地</b>	〒191-0011 東京都日野市日野本町4丁目6-1 4		
				<b>法人名</b>	社会福祉法人菊美会		
<b>1. 活動のテーマ</b>							
<テーマ>							
<p>「食育」  日頃から身近で大事な「食」に注目し、子どもたちが苦手意識を持っている野菜を主役にした「食育」をテーマとして設定した。</p>							
<テーマの設定理由>							
<p>五感が発達している未就学の時期に「食」に関する知識をつけ、農業が持つ教育的な価値に目を向けて、様々な体験を得てほしい。  土や野菜に触れた時の感覚や香り、生き物、植物など、「どうしてきゅうりを切ったら水が出て冷たいのか？」など、食べているだけでは気付けない野菜の不思議、自然のパワーを問いとして設定することで、「こんなの初めて見た」と「もっと知りたい（触りたい）」という子ども達の知的好奇心を育みたいと考えたため。</p>							
<b>2. 活動スケジュール</b>							
2024/12/11(水) 食育授業（やさいにさわってみよう、さつまいもクイズ） 2025/01/22(水) 食育授業（やさいにさわってみよう、野菜の種クイズ）							
<b>3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定</b>							
（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具） ・外部講師の派遣 ・子ども同士での思いの共有がしやすいよう、グループでの着席を環境設定した。							
【準備したもの】 季節の野菜、野菜の種、クイズ用パネル							
<b>4. 探究活動の実践</b>							
<活動の内容>							
食育授業： 本物の野菜を切る、ちぎる、折るなどして、五感を通じてその音や食感、外側の皮と中の部分の違いなどを知る。楽しく学べるようにクイズの要素を取り入れて実践した。外部講師が実施することで、子ども達にもいつもとは違う新鮮な情報が入っていくようで、いつもよりも聞く姿勢が出来ている子どももいた。なかなか調理前にじっくり野菜に触る時間が取れていることはなく、子ども向けに野菜のパワーを説明してくれることで、子ども達も最後まで飽きずに五感を活用して参加できていた。							
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>							

調理前の本物の野菜を触る活動では、ソラマメを触って「本当にふわふわのベッドだ！」と発見し友だちや保育者と共有する姿が見られた。また、野菜の種クイズでインゲン豆の種を見たあとに食べられる状態のインゲン豆を触ってみたことで、食べられる時期が過ぎると種になっていくことを体感し、野菜の生育に興味を持つ様子も見られた。規格外の野菜を見て「ひげが生えてる!」「黒くなってる!」と見慣れたものとの違いを発見し、そのあと中身を見てみたことで普段目にする野菜と何ら変わらず美味しく食べられることも子どもたちにとっては新鮮な発見となったようだった。



### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

3歳児クラスは食べ物の好き嫌いがはっきりしてくる時期だが、出前授業を通して実際に野菜に触れたり、紙芝居や絵本などで自分たちの口へ入るまで（自分たちが食べるまで）の過程を知ることができたことで、食材への興味が増し、以前よりも給食の食べ残しが減った。